

新規事業採択時評価結果(令和6年度新規事業化箇所)

担当課:道路局 国道・技術課
担当課長名:高松 諭

事業の概要

事業名	一般国道158号(中部縦貫自動車道) 高山東道路(平湯～久手)	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自:岐阜県高山市奥飛騨温泉郷平湯 至:岐阜県高山市丹生川町久手	延長	5.6km		
事業概要	<p>一般国道158号中部縦貫自動車道は長野県松本市を起点として、岐阜県高山市を経て福井県福井市に至る延長約160kmの高規格幹線道路である。</p> <p>このうち、一般国道158号の高山東道路(平湯～久手)は、高山市奥飛騨温泉郷平湯を起点とし、高山市丹生川町久手に至る延長5.6kmの道路事業である。</p>				
事業の目的、必要性	<p>当事業の整備により、北陸圏と中部圏、関東地域を最短で結び、効率的な物流網を構築するとともに、観光振興に寄与することで日本の経済活動を支援する。また、地方部における平常時・災害時の生活を維持し、地域安全保障として高山地域生活圏人口の維持に貢献することを目的とする。</p>				
全体事業費	約1,000億円	計画交通量	約8,400台/日		
事業概要図					

事業評価結果

費用便益分析 (参考)	B/C		EIRR	総費用	8,648億円	総便益	13,877億円	基準年	
		1.6 (0.8)			事業費:7,879億円 維持管理費:729億円 更新費:40億円		走行時間短縮便益:12,263億円 走行経費減少便益:1,486億円 交通事故減少便益:128億円	令和5年	
		2.1 (1.3)	[2%]	6.3% (3.1%)	感度分析	交通量変動	B/C=1.4~1.8	(変動ケース:±10%)	
		2.6 (1.6)	[1%]			事業費変動	B/C=1.5~1.8	(変動ケース:±10%)	
				事業期間変動		B/C=1.5~1.7	(変動ケース:±20%)		
事業の影響	者への影響	自動車や歩行者への影響	評価	根拠					
		渋滞対策	—	・注目すべき影響はない。					
		事故対策	◎	・線形不良区間の回避により、冬期をはじめとした通年の走行性、安全性が向上し、安全な生活が営める環境を支援。 〔線形不良箇所〕 現況:11箇所 ⇒ 整備後:0箇所					
	歩行空間	—	・注目すべき影響はない。						
	社会全体への影響	住民生活	◎	・上宝・奥飛騨温泉郷地域から第三次救急医療施設までの救急搬送の速達性が向上し、地域で生活が営める環境の維持を支援。 〔上宝・奥飛騨温泉郷地域～高山赤十字病院(第三次救急医療施設)までの所要時間〕 現況:69分 ⇒ 整備後:59分(10分短縮)					
		地域経済	◎	・首都圏と北陸圏との速達性が向上し、効率的な物流網を構築。 〔北陸圏(氷見漁港)～東京(豊洲市場)の輸送距離〕 現況:470km ⇒ 整備後:410km(60km短縮)					
災害		◎	・災害時の通行止めに伴う広域迂回の解消により、災害に対し信頼性の高い道路ネットワークが構築され、地域で生活が営める環境の維持を支援。 〔上宝・奥飛騨温泉郷地域～高山市街地の広域迂回(災害時)〕 現況:93分 ⇒ 整備後:57分(36分短縮)						
環境		—	・注目すべき影響はない。						
事業実施環境	◎	・高山市街地と県境を跨ぐ上高地等の主要な観光資源間の移動時間短縮により、観光周遊性の高いネットワークを構築。 〔周遊ルート(高山市街地→新穂高ロープウェイ→上高地→乗鞍高原→高山市街地)の所要時間〕 現況:260分 ⇒ 整備後:240分(20分短縮)							
	○	・計画段階評価手続き完了(R5.2) ・中部縦貫自動車道飛騨・高山道路建設促進協議会、中部縦貫自動車道上宝・奥飛騨建設促進協力会、中部縦貫自動車道丹生川町建設促進協力会などより早期事業化を要望。							

採択の理由

費用便益が一体評価で1.6と便益が費用を上回っているとともに、計画段階評価手続きが完了しており、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該区間の整備により速達性・定時性の向上による産業活性化の支援、救急搬送時の速達性・安定性の確保、交通安全・積雪時の走行性向上、被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保など、事業の必要性・効果は高いと判断できる。

以上より、本事業の新規事業化については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。
※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。([]内は社会的割引率の値)
※B/Cの上段は(仮称)松本JCT～飛騨清見ICを対象とした場合、下段()下記の値は事業化区間を対象とした場合の費用便益分析結果。

関係する地方公共団体等の意見

【岐阜県知事】
一般国道158号 中部縦貫自動車道 高山東道路(平湯～久手)の令和6年度予算化について同意します。

中部縦貫自動車道は、長野自動車道、東海北陸自動車道等を相互に連絡することで物流改善による地域産業の活性化、国内有数の観光地へのアクセス強化による旅行客の増加などが見込まれます。また、関東、中部及び北陸地方の広域的かつ一体的発展を促進するとともに、積雪や災害など有事における広域的な支援、受援及び救急搬送において有効に機能する重要な道路であることから、ミッシングリンクとなっている当該区間の新規事業化と事業推進を強く希望します。

本県としましては、当該区間の事業推進にあたり、高山市と連携し、残土受入地の確保、地元調整及び用地取得への最大限の協力をを行うとともに、直轄道路事業負担金の予算確保に努めてまいります。

さらには、整備効果を一層向上させるための連携事業として、アクセス道路となる国道471号の整備や、災害により通行止となっている乗鞍スカイラインの早期復旧、国道158号のうち当面の現道活用区間における交通安全対策や適切な維持管理など、地域の利便性の向上や、災害に強い道路ネットワークの構築につながるよう周辺道路の整備に取り組んでまいります。

なお、優先整備区間のうち残る久手～日面間についても、速やかに新規事業化されるよう引き続き検討をお願いします。

今後も、長野県をはじめ沿線自治体と連携を密にして、本自動車道の整備促進に向け、国とともに取り組んでまいりますので、引き続き御支援いただきますようお願い申し上げます。

学識経験者等の第三者委員会の意見

・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件

- ・費用対便益 : 便益が費用を上回っている。
- ・手続きの完了: 計画段階評価手続き完了(R5.2)

新規事業採択時評価結果（令和6年度新規事業化箇所）

事業評価結果（防災機能）

事業の必要性		
当事業の整備により、北陸圏と中部圏、関東地域を最短で結び、効率的な物流網を構築するとともに、観光振興に寄与することで日本の経済活動を支援する。また、地方部における平常時・災害時の生活を維持し、地域安全保障として高山地域生活圏人口の維持に貢献することを目的とする。		
評価項目	地域の課題	関連する計画
救助活動等	<ul style="list-style-type: none"> 一般国道158号は、災害発生時には、土砂流出等により通行止めが発生するなど災害に対して脆弱。 災害等による通行止め時には、上宝・奥飛騨温泉郷地域から高山市街地までに広域迂回が必要となり、地域への救助活動に支障となる恐れ。 	※高山市国土強靱化地域計画（R2.12） <ul style="list-style-type: none"> 広域的な大規模災害時に救援・復旧活動の拠点等の役割を果たすことができるよう、基幹的な道路交通ネットワークの確保を図る必要がある。 東海北陸自動車道や中部縦貫自動車道、国道41号石浦バイパスの整備を促進する。
住民生活	<ul style="list-style-type: none"> 上宝・奥飛騨温泉郷地域の重篤患者については、高山市街地の高次救急医療施設に全て救急搬送しており、高山市内で唯一60分以内で到達できない地域。 	※高山市都市基本計画（R3.1） <ul style="list-style-type: none"> 都市拠点や地域拠点間、地域拠点と周辺を効率的・効果的に結ぶ地域公共交通システムの構築により、アクセスの向上を図ります。 中部縦貫自動車道の整備促進により、広域交通の更なる利便性向上や各種産業の活性化、災害時の輸送道路としての機能向上などを図ります。
地域経済 地域社会	<ul style="list-style-type: none"> 富山県、石川県、福井県の北陸3県の貨物輸送量は、3大都市圏への輸送が約6割を占めており、中でも首都圏は北陸3県との結びつきが最も強いが、最短経路の高規格道路ネットワークが未整備のため、輸送距離が長く、非効率な輸送となっている。 	※高山市第八次総合計画（R2.3） <ul style="list-style-type: none"> 将来都市構造を踏まえた生活や交流の地域拠点の形成、産業や景観など地域特性を生かした土地利用の推進を図るとともに、利便性の高い交通や情報のネットワーク構築など、将来を見据えた効果的な都市施設の整備をすすめます。 中部縦貫自動車道や国道41号石浦バイパスなど将来を見据えた広域道路網の整備を促進します。
その他		

事業の有効性									
<ul style="list-style-type: none"> 当該事業の実施により、主要拠点間のリンクの評価に変化はないものの、累積脆弱度の改善により、ネットワーク全体の防災機能が強化される。 また本事業において、速達性・定時性の向上による産業活性化の支援、救急搬送時の速達性・安定性の確保、交通安全・積雪時の走行性向上、被災時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保など、有効性の高い事業と評価する。 									
道路ネットワークの 防災機能	主な区間		改善ペア数	脆弱度 (防災機能ランク)		累積脆弱度 の変化量	改善度		評価
				整備前	整備後		通常時	災害時	
	高山市	平湯	4 (2)	0.63 [C] 〔0.74〕 〔C〕	0.39 [C] 〔0.26〕 〔B〕	▲12.88 (▲11.76)	0.15 (0.13)	0.28 (0.50)	○ (◎)

事業の効率性
<ul style="list-style-type: none"> 計画段階評価手続き完了（R5.2）

※道路ネットワークの防災機能の上段は(仮称)松本JCT～飛騨清見ICを対象とした場合、下段()下記の値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果。